

# 『税金は自分で有効化』

足立区立第一中学校 三年C組

草野 由梨枝

私は今年、中学三年生になった。いわゆる受験生だが、初めて受験をする私にとって勉強に対しての不安はとても大きかった。そんな思いを特に強く抱いていた中学二年生の終わり頃、学校で一枚のチラシが配られた。そこには「塾・無料」という文字。前から塾に通いたいと思っていたが、私の家庭は裕福ではなかったため、塾に行けるチャンスだった。すぐにその塾について調べてみるとそこは税金で運営している塾だと分かった。今、私は税金のおかげでその塾に通い、集中して勉強ができています。

思えば私はこれまでも小学校、中学校で税金に助けられてきた。事実、一年間で一人あたりの子供に使われる税金の金額は、小学生で約八十四万八千円、中学生で約九十七万九千円だ。すると、小学校から中学校の九年間でおよそ八百万円もかかることになる。ここで私はある恐しいことに気がついてしまった。私は九年間多額の税金によって教育を受けてきたわけだが、もし私がその九年間何もせず、成長しなかったとしたら、その八百万円は全て無駄になってしまう。税金は全ての国民が負担しているお金のため、そのお金が無駄になってしまうのだ。前期の塾も税金から組まれる予算約三千万円で運営している。これらもやはり受けとる側の行動によっては無駄になってしまう。国民が税金を払ってくれているおかげで私達は教育を受けられているわけだが、それも私達

の行動によつてはじめて意味のあるものになるのだと感じた。

塾の先生はテキストを配るたびに「これは税金で配られているものですから、最後まで大切に使いましょう」とおっしゃっている。税金によつて学べているありがたさを改めて感じることで、きる言葉だった。

それでも世間では税金について、罰金、無駄遣い、面倒と考える人も多い。しかし、そのように考える人も多い。しかし、そのように考えている人も必ずどこかで税金に助けられているはずだ。税金によつて教育を受けていたはずだ。私はそのような、税金を使う人の行動によつて、無駄になるか、有効になるかが決まると思う。

正直、塾は思っていたよりも厳しく、勉強が辛いと感じてしまうこともある。しかし、そこで諦めてしまったら、私に支払われた税金が無駄になってしまう。税金のありがたさと使う側の責任を忘れず、私は今年、受験生として一生懸命勉強に励み、将来、立派な納税者になりたい。